

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより

TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>



第 4 号

令和5年7月3日

生徒数		
1年	82名	3学級
2年	91名	3学級
3年	98名	3学級
4組	2名	1学級
5組	2名	1学級
合計	275名	11学級

“Tomorrow is another day.”

校長 檜田 光東

梅雨の晴れ間に初夏を思わせるさわやかな青空を見ることができる季節となりました。プールからは、子どもたちが元気に泳ぐ水しぶきの音が聞こえてきます。新年度が始まって3ヶ月が過ぎ、子ども達は心身ともにたくましく成長しながら、この1学期を終えようとしています。

さて、「風とともに去りぬ」は、アメリカの女流作家マーガレット・ミッチェルによって書かれた小説で、今から84年前の1939年に映画化され、多くの賞を受けた有名な作品です。主人公のスカーレット・オハラが、アメリカで南北戦争が起きた時代を、一人の女性として生き抜き、自立していく物語です。当時の様々な時代背景を理解していないと、内容としては難しい箇所が多々あるので、私もすべて理解できている自信はありませんが、主人公の女性スカーレット・オハラの不屈の精神は理解できたと思います。その映画のラスト・シーンは、数々の苦難や困難を経験しながらも、前向きに立ち向かおうとする主人公が、次の台詞を言ってエンディングとなっていきます。

“After all, tomorrow is another day.” これを直訳すると、「結局、明日はもうひとつの日だ。」となるのでしょうか。意味としては、「ともあれ、明日は、また、別の日だ。」ということで、映画の

字幕では

「明日は明日の風が吹く。」

と訳されています。

いろいろな悩みや不安を抱えるのが中学生時代です。誰もが通ってきた道かもしれません。「いくら努力しても自分の思ったとおりにいかない。」「自分では、こんなにがんばっているのに、どうして、うまくいかないのだろう。」と悩むことも多いでしょう。そんな時、ぜひ、この言葉を思い出しましょう。「無理せず、あせらずに、今、できる限りのことをやってみよう。結果は後からついてくる。」という意味で使ってほしいと思います。

自分は、高校生の時、部活動で毎日疲れてしまい、なかなか家で勉強ができなかった時がありました。テスト休みで部活動がなくなった数日に集中して長時間勉強し、定期試験の前日に徹夜して勉強して試験に臨んだこともありました。しかし、その時は、試験を受けながら眠気に襲われ、頭が全く働かず、結果がさんざんだったという苦い経験となりました。それからは、無理せず、毎日、少しずつやろうと考え方を変え、夜は疲れて勉強ができないで、できる限り早く寝て、朝、早起きをして朝学習を始めました。時間は1～2時間程度しかできなかったと思いますが、毎日、継続できた気がします。そして、試験の前日は無理せず、心の中で「明日は明日の風が吹く。」とつぶやいて、ゆっくり寝て、試験の当日を迎えるようにし、その方が結果的にも良かった気がします。

さて、本校には、様々な名言の掲示物があり、この「Tomorrow is another day.」も、あります。生徒のみなさん、どこだか、わかりますか。ヒントは、敷地内のどこかです。探してみてください。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をお願いすると共に子ども達がゆとりをもって、前向きに努力できるように、ご支援いただきますようお願いいたします。